

平成26年の林産物の輸出実績について

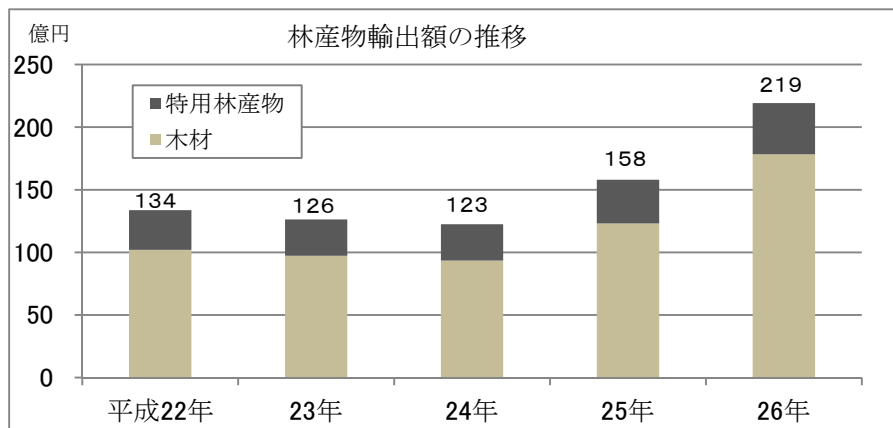
注1:資料はすべて財務省貿易統計

2:以下は速報値であり、今後確定値が公表されれば変更されることがあります

3:「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」(平成 25 年公表)の品目区分に基づき、きのご類を林産物に含めていることから、食料産業局ホームページで公表された「農林水産物・食品の輸出実績」の林産物輸出額(211 億円)とは一致していません。

1 林産物

- 平成 26 年の林産物輸出総額は 219 億円で、前年の 158 億円から 61 億円の増(対前年比 139%)と大幅に増加しました。



○林産物輸出額の推移

(百万円)

	平成22年	23年	24年	25年	26年	(対前年比)
木材	10,201	9,731	9,345	12,307	17,834	145%
特用林産物	3,176	2,904	2,909	3,490	4,087	117%
林産物合計	13,377	12,635	12,255	15,797	21,921	139%

※木質ペレット、チップ、薪、木炭は木材に含む。

○林産物の主な輸出先国(平成26年)

(億円)

国名	中国	韓国	台湾	その他	合計
輸出額	75	34	24	86	219

(1)木材

- 平成 26 年の木材輸出総額は 178 億円で、前年の 123 億円から 55 億円の増(対前年比 145%)、平成になってからの最高額を記録しました。
- 国別では、中国が 68 億円(対前年比 196%)、韓国が 29 億円(同 173%)と、この上位 2 カ国が前年を大幅に上回り、2 カ国計で全体の過半(54%)を占めています。

○木材輸出額の推移(主な国別)

(百万円)

	平成22年	23年	24年	25年	26年	(対前年比)
中国	2,562	2,415	2,085	3,471	6,786	196%
韓国	841	1,060	1,048	1,659	2,873	173%
台湾	831	984	997	1,441	2,005	139%
フィリピン	2,039	1,902	1,800	1,965	1,967	100%
その他	3,928	3,370	3,416	3,770	4,203	112%
合計	10,201	9,731	9,345	12,307	17,834	145%

- 主な品目別では、丸太が69億円(対前年比220%)、製材が32億円(同118%)、合板が14億円(同132%)で、この上位3品目で全体の65%を占めています。

○主な品目別の内訳

(億円)

品目	平成25年	平成26年	(対前年比)
丸太	31 (25%)	69 (39%)	220%
製材	27 (22%)	32 (18%)	118%
合板等	10 (8%)	14 (8%)	132%
木製建具等	7 (6%)	12 (7%)	173%
単板	6 (5%)	6 (4%)	102%
繊維板	6 (5%)	6 (3%)	95%
その他	36 (29%)	39 (21%)	114%
木材計	123 (100%)	178 (100%)	145%

(2)特用林産物

- 平成26年の特用林産物輸出総額は41億円で、そのうちきのこ(乾しいたけ含む)は8億円(対前年比146%)となっています。
- きのこの輸出額を国別にみると、台湾が2.6億円(対前年比168%)、香港が1.9億円(対前年比120%)、シンガポールが1.5億円(対前年比212%)と、上位3ヶ国計で輸出額全体の72%を占めています。

○きのこ(乾しいたけ含む)輸出額の推移(主な国別)

(百万円)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	(対前年比)
香港	158	136	131	156	187	120%
台湾	16	75	152	152	256	168%
シンガポール	50	53	38	69	147	212%
その他	79	69	88	180	226	126%
計	303	333	409	558	816	146%

- 乾しいたけの輸出額を国別にみると、台湾が1億円(対前年比206%)、香港が0.9億円(対前年比140%)と、2カ国計で輸出額全体の87%を占めています。

○乾しいたけ輸出額の推移(主な国別)

(百万円)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	(対前年比)
香港	107	85	71	66	92	140%
台湾	11	5	6	48	98	206%
米国	19	18	11	13	15	116%
その他	25	27	7	17	13	77%
計	163	135	95	144	219	152%